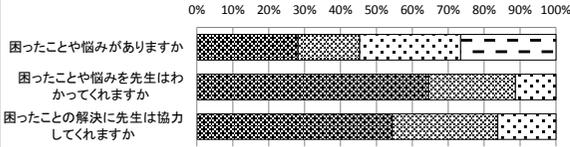


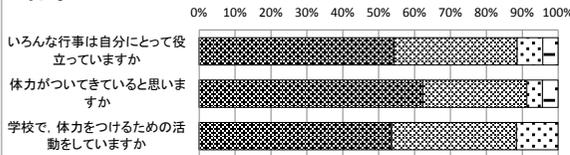
## こまりについて



比較的低中学年は自分から申告してくることや保護者からの情報も多く、学校で対応し、解決できています。保護者・児童の期待を裏切らないようにしていかなければならないと考えます。

高学年になるほど困りが発見しにくくなる面があります。「先生に相談しにくい」と回答しているところが気になります。しっかりと児童に寄り添い、個別で声をかけていくように留意したいと思います。

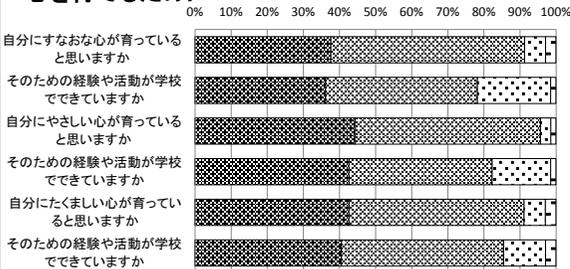
## 行事について



低学年・中学年については、行事については、達成感を持つことができ、全校での取り組みはとても楽しく、自分にとって役立っていると思っている子がほとんどでした。

しかし、高学年にとっては、行事の中での自分の成長についての実感がなく、また、1つ1つに全力で取り組み学校を引っ張る立場にありますが、その割に下級生からの感謝の気持ちがダイレクトに伝わっていないからでしょうか、肯定感のなさが気になりました。

## 心を育てるために



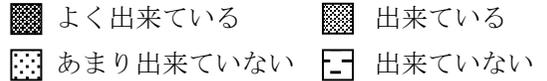
### ○体力

ほとんどの児童は朝のマラソンでの距離をのばしたり、タイムを意識したりして、走る力がついている実感があるようです。

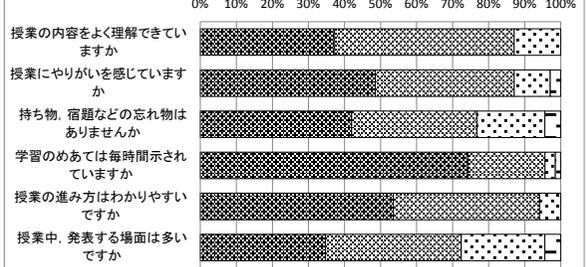
### ○心

自分の心の成長を感じるのは非常に難しいことかもしれません。客観的な見取りをどうするか検討したいと考えています。

# 児童アンケートの結果と考察



## 授業について



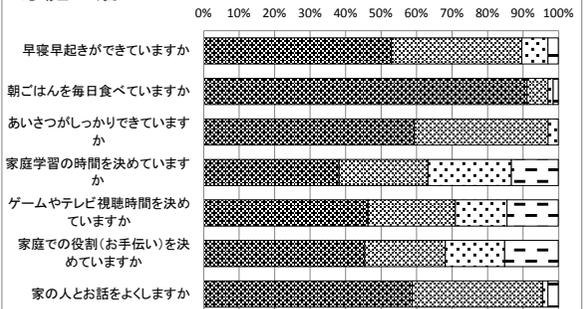
概ね意欲を持って取り組んでくれていると思います。学習に対する意欲は高い方なので、そこから「分かる」につなげていきたいと考えています。

忘れ物を自覚している児童については、家庭との連携や残って宿題をさせる等して自覚させようとしています。

発表場面が少ないと感じている児童が多くいます。発表できるようにさらに取り組まなくてはならないと感じました。

特に、高学年には「やりがい」「成就感」をもたせられるよう取り組んでいきたいと思います。

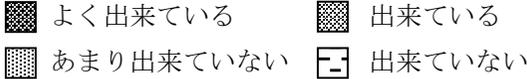
## 家庭生活について



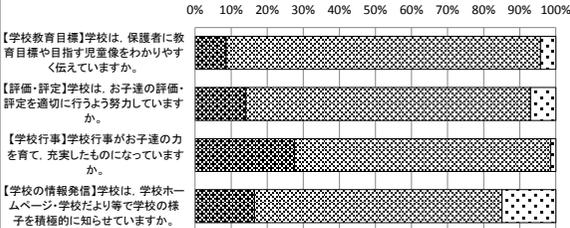
総じてまだ大きな乱れはないように見えます。年の離れた家族が多い児童は、それに引かれて就寝が遅れる傾向がみられます。

高学年になるほど、家庭学習の時間、ゲームやテレビの時間、お手伝いに課題があるようです。「ゲームやテレビの時間」「家での仕事」については、その大切さを家庭としっかり共通認識し連携をとって改善していきたいと思います。

# 保護者アンケート の結果と考察

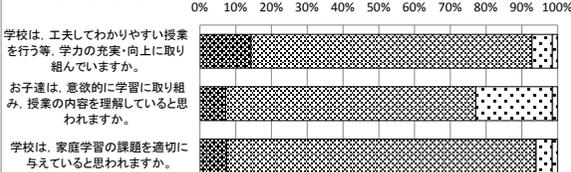


## ◆学校運営



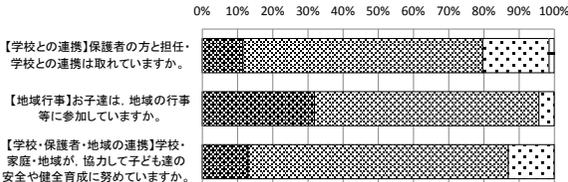
ホームページの更新については、日々の授業や行事の写真を各学年が積極的にアップしていくように、心がけていきます。子どもたちの生き生きとした姿を伝えていけたらと思っています。

## ◆学習指導



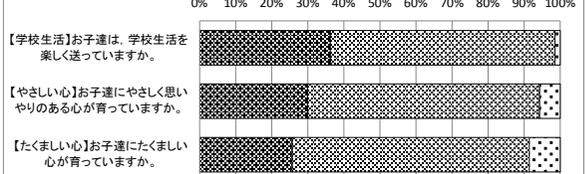
「学校は工夫してわかりやすい授業をしている」はおおむね高評価、しかし、「お子達は、授業の内容を理解している」は22.8%の方が「あまり出来てない」「出来ていない」と答えていただいでいて、そのギャップが課題であると考えます。つまり、学校は授業について工夫はしているものの、子ども達には十分届いていないということだと思います。子どもに届いてこそその授業であると思いますので、より一層の授業改善（わかりやすい授業、わかるまで教え切る指導）を徹底していきます。

## ◆学校・地域との連携



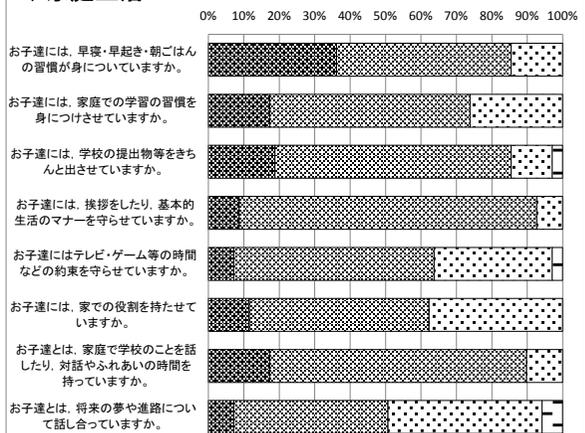
「保護者の方と担任・学校の連携」については、20.2%の方が「あまり出来てない」「出来ていない」と答えていただいでいます。春の家庭訪問、年に2回の個人懇談会、年に3回の学年懇談会でしっかりとしたお話をしていくとともに、やはり、日々の学級通信や連絡帳、お電話、自宅訪問でのコミュニケーションが大事であると思います。毎日の活動の中での気付きや気になったこと、そして、ほめることを共有していくようにやっていきます。

## ◆学校生活



「学校生活を楽しく送っている」、「やさしく思いやりのある心が育っている」の項目は、高い評価をいただいでおり、今後も学校行事や授業、人権学習などを充実させていきたいと思ひます。「たくましい心」については、「あまり出来ていない」とお答えいただいた方が8.6%おられました。引き続き、火曜日・金曜日の運動場を走る朝マラソン、水曜日の高宮牧場まで走るロードマラソン、冬場の体育館でのなわとび・大なわとびなどの体を鍛える活動を行っていきます。そして、京北陸上交歓記録会や大文字駅伝等の競技会を目標に練習の成果を試していき、意欲を高めていきたいと思ひます。また、4、5、6年で取り組む野外活動でも、宿泊を通して自然と触れ合う中でたくましい心を育成していきたいと思ひます。

## ◆家庭生活



「あまり出来てない」が目立つ項目は、「家庭での学習の習慣」、「テレビ・ゲーム等の時間の約束」、「家での役割」、「将来の夢や進路の話し合い」です。「家庭での学習の習慣」、「テレビ・ゲーム等の時間の約束」については、学校の方でも宿題は確実に与え、確実に回収・間違い直しをすることを徹底していますので、どうかお家の方でもテレビ・ゲームの視聴時間の目標を決めて、「家で机の前に座って勉強する」という学習の習慣をつけていってほしいと思ひます。

「家での役割」は、例えば、食事の時配ぜんをする、お風呂洗いをするなど、家族の生活について、子どもたちに何か一つでも役割を決めていってほしいと思ひます。そうすることで、「家族のくらしの中で自分が必要とされている、自分のがんばりが必要だ」という「自己有用感」が育ち、意欲的になったり、自信が出てきたりすることにつながります。そして、それを「将来の夢や希望」を考えたり、語る力につながりたしていきたくです。「夢や希望」は低学年にはまだ難しいところも多いですが、5年生になると、「スチューデントシティ学習」という「自分らの仕事観・職業観をもつ」学習もあります。高学年に向かって、「夢や希望」の語らいも大事なことでありと思ひます。